

「青年国際交流事業の効果測定・評価に関する検討会」中間報告

- ・グローバル化がますます進展する現在の国際社会において、他国の人々と十分なコミュニケーションや交渉が行え、異なる文化・価値に対応できるグローバル人材の育成が急務。
- ・内閣府の行う青年国際交流事業は、以下のような特徴を有する。
 - ①外交上の効果：各国からの高い評価、最高レベルの表敬訪問、各国メディアでの多数報道
 - ②人材育成上の効果：様々な実践力の向上に効果、各界で活躍する人材を多数輩出
 - ③事後活動組織：我が国及び世界56か国に事後活動組織が形成、人的ネットワークの形成
 - ④「船」による事業の効果：短期間で強い絆の形成

「内閣府青年国際交流事業に関する緊急アンケート」結果

内閣府の行う青年国際交流事業は、留学とくらべて以下のような要素の成長について著しい効果があった。

- ①リーダーシップ
- ②主体性・積極性・チャレンジ精神
- ③他者・異文化間における調整力
- ④異文化への対応力

「グローバルリーダー育成事業」においては、平成24年度までの「世界青年の船」事業の成果を継承しつつ、以下の3点を重視。

- ①リーダーシップ
- ②マネジメント力
- ③異文化間の交渉力